

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	学校施設課長	小澤 圭介	
教育-19	重点事業	中学校施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学校施設課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備	

1 事業の目的

2 平成29年度に実施した事業の概要

対象	市立中学校9校	大船中学校校庭整備工事を平成28年度と29年度の2か年の継続事業として実施し、一部未了のため、平成30年度へ繰越した。 学校施設の老朽化状況調査委託を、平成29年度と30年度の2か年の事業として開始した。 第一中学校外1校の冷暖房設備設置工事を行った。 腰越中学校のトイレ改修工事設計委託及び特別支援学級教室改修工事を行った。
意図	中学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。	
効果	生徒の安全・安心な教育環境を整える。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	3,504人	3,416人	3,416人	3,416人	3,350人	3,350人		
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	2,327,364	227,665	227,665	当初予算(千円)	143,796		
	国県支出金	511,921	31,201	31,201	国県支出金	0		
	地方債	1,275,100	180,431	180,431	地方債	71,700		
	その他				その他	17,749		
	一般財源	540,343	16,033	16,033	一般財源	54,347		
	人員配置数	1.7	1	1	人員配置数	1.4		
事業経費運営	人件費(千円)	12,699	7,549	7,549	人件費(千円)	10,723		
	総事業費(千円)	2,340,063	235,214	235,214	総事業費(千円)	154,519		
	市民1人当りの経費(円)	13,230	1,333	1,333	市民1人当りの経費(円)	876		
	対象者1人当りの経費(円)	668,016	68,857	68,857	対象者1人当りの経費(円)	46,125		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者負担導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	トイレ改修の加速化(3か年で未改修トイレを全て改修)の実施に向け、予算規模を拡大する必要がある。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	教育環境の改善を図るため、外壁、受水槽等の改修を進める。 トイレの改修を加速化させ、3か年で12校20系統(小6校、10系統、中6校10系統)のトイレを改修する。 学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等の施設整備計画を検討する。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	大船中学校校庭整備工事及び普通教室への冷暖房設備設置工事を計画どおり実施する。 小中学校校舎の老朽化状況を把握するため、学校施設の老朽化状況調査に着手する。 老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全と延命化に努める。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	大船中学校校庭整備工事を平成28年度と29年度の2か年の継続事業として実施し、一部未了のため、平成30年度へ繰越した。 第一中学校外1校の冷暖房設備設置工事をを行い、全ての中学校で普通教室に冷暖房設備を設置した。 腰越中学校のトイレ改修工事設計委託及び特別支援学級教室改修工事を行った。 学校施設の老朽化状況調査委託を、平成29年度と30年度の2か年の事業として開始した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等の施設整備計画を検討する。 一部未了のため、平成30年度に繰越した大船中学校校庭整備工事を完了させる。 トイレの改修を加速化し、3か年で12校20系統(小6校10系統、中6校10系統)のトイレを改修する。 老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	普通教室冷暖房設備設置状況 ○:全中学校設置 △:一部中学校設置 ×:全中学校未設置								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	×	○	×	×	○	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市では普通教室への冷暖房設備設置が順次進められており、生徒の健康で安全な学習環境を構築するため、本市も計画的に事業を進めていく。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	普通教室への冷暖房設備設置	単位	校	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成29年度に全8校(改築により設置済みの大船中を除く)設置完了。
計画通り平成29年度までに中学校全9校の普通教室に冷暖房設備を設置する。	目標値	—	—	6.0	8.0	—	—	
	実績値	—	—	6.0	8.0	—	—	
	達成率	—	—	75.0%	100.0%	—	—	
指標の内容	トイレの改修	単位	系統	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成32年度までに、全て(10系統)の改修を完了する。平成32年度は4系統実施予定。
6校10系統のトイレが未改修(平成29年度末時点)だが、平成32年度までに全て改修工事を行う。	目標値	—	—	—	—	1.0	6.0	
	実績値	—	—	—	—	—	—	
	達成率	—	—	—	—	—	—	
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	普通教室への冷暖房設備設置については、計画どおり事業が完了した。 トイレの改修については、小中学校合わせて毎年2校(2系統)の工事実施を計画し、事業を加速化させたが、更に前倒しし、平成32年度までに3か年12校20系統を実施することを計画している。							